

子育て世帯定着に役立てて

「母校の児童数を増やしたい」と、**岡安町**の総合建設業・**澁谷組**（澁谷良作社長）が昨

年度に続き、同町の西八田小学校（山中大介校長、80人）のPTA（久田博章会長）に給



久田会長（右）に寄付金の目録を手渡す
澁谷社長＝岡安町で

食費の寄付を行った。15日に同校で受領式と感謝状贈呈式が行われた。

同社はこれまでも、同校敷地のフェンスを無償で新調するなど地域貢献を行ってきたが、昨年度からは年間200万円の給食費寄付を開始しており、計6年間をめどに続ける予定。

給食費は同校が保護者から集金するが、元々の月額約4千円のうち、PTAを通じて半額相当の2千円分は同社の寄付分を充当することで、保護者負担を

半額にすることができると。由良川の治水や道路、治山などの工事を手掛ける同社の澁谷社長（62）は同校の出身。在学時は今より児童数が多かった思い出もある。

昨年度は寄付金を活用し 机の天板拡張なども導入

同校ではICT（情報通信技術）教育の上で、教室の机がダブルツト端末を置くには狭いなどの課題もあり、昨年度は給食費の半減以外にも同社の寄付を

活用し、机の天板拡張ボードを導入した。また体温測定用赤外線カメラも増設できたという。山中校長も「篤志を受け止めて最大限活用していきたい」と感謝を述べた。

【朝倉聡】

寄付を始めた。

澁谷社長から寄付金の目録を受け取った久田会長（44）は「我が家からも二児が通っているが、貴重な寄付を続けて頂くのは保護者の大きな励みになり、感謝の気持ちで地域と一体となって子どもに還元していきたい」と話し、感謝状を手渡した。

2年連続

渋谷組が西八田小PTAに給食費寄付

り、地域活性化のための
の貢献を通じて子育て
世帯の定着につなげ、
空き家も減らしたいと